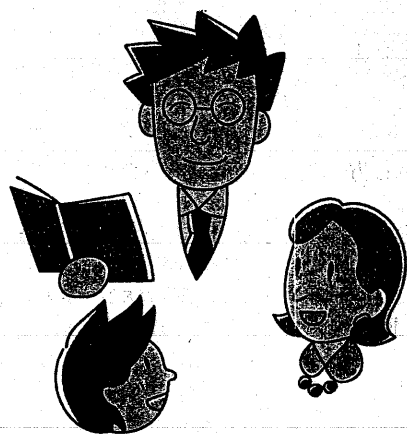


品川区立小・中学校

平成15年度

# 新しい学校評価の手引き



品川区教育委員会

## 目次

## I 基本的な考え方

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| 1. 品川区が目指す学校の姿    | 1   |
| 2. 新しい学校評価の趣旨     | 1～2 |
| 3. 新しい学校評価の骨子・ねらい | 3   |

## II 実施方法

- |                               |     |
|-------------------------------|-----|
| 1. 外部評価の方法                    | 4～5 |
| 2. 新しい学校評価の年間計画<br>新しい学校評価の流れ | 6～7 |

## III 評価結果の扱い方と生かし方

- |              |   |
|--------------|---|
| 1. 評価結果の扱い方  | 8 |
| 2. 評価結果の生かし方 | 8 |

## IV 実施に向けての配慮事項

## V 評価表

- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| ◇ 外部評価の内容構成           | 10    |
| ◇ 学校評価表(項目・設問)        |       |
| <小学校用> 項目1～4          | 11～15 |
| <中学校用> 項目1～4          | 16～20 |
| <小・中共通用> 項目5、項目5の例、要望 | 21～24 |
| ◇ 外部評価にかかわる報告書(様式)    | 25～26 |

## I 基本的な考え方

## 1. 品川区が目指す学校の姿

現在、国や自治体レベルで「特色ある教育活動」「開かれた学校」「教員の質の向上」など様々な教育課題に対する施策が展開されています。品川区では、こうした課題を解決するために平成12年度より教育改革「プラン21」に取り組んでいます。教育改革「プラン21」のねらいは、各学校がそれぞれの児童・生徒あるいは地域の特性を生かして、「特色ある学校づくり」を進め、教師と子どもの間で展開される様々な教育活動の質の向上を図るとともに、保護者や地域と一体になって学校をより活性化させていくことにあります。

この「特色ある学校づくり」を進めるための具体的な方策として、本区では、習熟度別学習、小学校の教科担任制等の指導システムを取り入れました。これは、各学校が学校全体としてどのような教育に目を向けていくのかを明確にした、いわば経営論的な特色といえます。学校教育の新たな展望を開くためには、教育内容や方法などの教育論だけではなく、こうした経営論的な発想に基づく学校独自の指導システムや学校体制づくりを整えることが大切です。こうすることで、組織の中の教員の役割分担や協力関係も生まれ、新しい学校づくりが進んでいくと考えます。

また、「特色ある学校」を目指す以上、教員集団はより多くの子どもや保護者から選ばれる学校にしていこうとする意識をもち、自ら学校を変えていこうとする積極的な状況をつくりださなければなりません。「学校選択制」は、このような考えに基づく重要な施策でありました。このことにより各学校は、経営論的発想から導入した様々なシステムがその学校の特色となって保護者や地域のニーズに応える成果をあげられているか、常にそのアカウンタビリティが問われることになったのです。

したがって、これからの学校は、学校経営のコンセプトを保護者や地域の方々に説明し、どんな教育活動を行って、どのような成果を出す予定なのかを明らかにするとともに、実施後は、その成果を具体的に示すなど、教育サービスの質的向上の観点から教員や学校全体の評価システムを見直す必要があります。こうした学校評価に基づいて学校づくりを進める成果を基盤にした学校こそ、品川区が目指す学校の姿です。

## 2. 新しい学校評価の趣旨

言うまでもなく、公立学校は様々な法令や条例、規則に基づいて教育活動が運営されています。しかし、どの学校も選択の対象となっている本区では、それだけでなく、教育活動の成果を基盤にした学校に向けて少しずつ体質を変えていかなければなりません。そのためにも、各学校には以前にも増して、保護者や地域の人々にみえる特色を打ち出し、それを理解していただくためのより一層の工夫や努力が望まれています。つまり、「学校選択制」が定着してきた今、各学校が踏み出さなければならないことは、主体性・自律性が確立され、より客観性をもたせた新しい学校評価を実施して自校の教育活動のよさをアピールするとともに、さうなる学校改善を図っていくことです。

まず、選択される側の学校は、教育活動の成果に基づいて自己点検、自己評価を適切に行うとともに、学校内部だけでなく学校外部からの意見も取り入れ、より客観性をもたせた評価を行うこと

が大切です。そして、その評価結果は、各学校が十分に検討した後、次年度の学校経営方針や教育課程屈などに反映され、学校改善の視点や具体的な方策が選択する側の保護者や地域等に広くわかりやすく示される必要があります。単に、各項目についての評定を示すのではなく、次年度に向けての改善策や新たな実践事項を示すことで学校の主体性・自律性が発揮されることになります。

これまで学校では、かなり力を入れてこの学校評価に取り組んできました。しかし、これまでの学校評価は、学校内部の評価が中心であるため独善に陥りやすく、十分な評価機能を果たしているとは言えない面がありました。「学校選択制」を導入し、アカウンタビリティが問われている品川区の学校では、個々の教育活動の成果を重視するだけでなく、学校経営あるいは教育課程そのものの成果を保護者や地域の人々に説明しなければならないと考えます。各学校が年度当初に保護者や地域の人々に対して約束したことがどれほど実行されたのか、そして次年度に向けてどのように改善していくのか、学校と選択する側との間にこうした評価活動が繰り返されることによって、学校はより活性化されると考えます。

<これまでの学校評価と新しい学校評価>

これまでの学校評価の課題

学校内部による自己評価が中心のため、

- ・具体性、客観性に乏しく、保護者や地域の声が反映されにくい評価であった。
- ・教育活動を支える考え方や計画、実施状況が保護者や地域の人々に見えにくく、活動のよさや改善点が分かりにくかった。(共有できなかった)
- ・個々の教育活動の評価はあっても、学校総体としての姿や教師と子どもの関係などは評価しにくかった。
- ・学校行事に関するものを除くと、年度末1回の評価であり、改善点が次年度の教育活動に生かされにくい面があった。



新しい学校評価

外部評価を取り入れた新しい学校評価システムをつくることにより、

- ・年間を通して計画的でより客観性をもたせた評価活動が行えるようになり、学校のアカウンタビリティを果たしていけるようになる。
- ・特色ある学校づくりに向けた学校のよさや改善点を、保護者や地域の方々に理解していただくとともに、それらを共有できるようにする。
- ・学校総体や教員集団の姿など、学校内部では評価しにくかった面についても評価を行えるようし、教員集団の意識改革が図れるようになる。
- ・教育活動の達成状況やその要因を明らかにし、改善点を次年度に生かすことで、成果を基盤として教育活動を創造、実行する学校をつかっていくようになる。

特色ある学校づくりのためには、校長をリーダーとする教員集団が理想の教育を追究しながら自ら学校改善を図っていく必要があります。言うまでもなく、学校の特色とは目新しいイベント的なものではなく、今ある学校の環境を最大限に活用した質の高い教育のことです。そのためにも、教員集団が自らの学校を変えていこうとする前向きな姿勢で、保護者や地域の人々とともに、学校の総体や組織、教育活動を冷静に見定める新しい学校評価を実施する必要があります。

3. 新しい学校評価の骨子・ねらい

学校の主体性・自律性を維持しつつ、外部の評価にも十分反応する新しい学校評価  
 <内部評価(選択される側の学校内部の評価)> + <外部評価(選択する側の学校外部の評価)>  
 学校改善につながる実効性のある学校評価にするためには、外部の評価を加えることが有用である。また、単に外部評価者の評価結果を取り入れるだけでなく、外部評価項目に連動した内部評価の結果を外部評価者に示し、それを踏まえた外部評価を行うことで、より客観性のある評価が実現する。

外部評価を取り入れた新しい学校評価の目的

- ・特色ある学校づくりのより一層の推進と学校の活性化
- ・学校教育、教員の質の向上
- ・学校評価に基づき教育活動の成果を基盤にした学校への転換
- ・学校、保護者、地域が一体となった学校づくり

新しい学校評価の主な内容

【学校評価の様式】

- 年度当初に、各項目についての学校経営の基本的な考え方を示す。
  - ・本校が育てようとしている子どもの姿とそれを支える学校の姿
  - ・そのための今年度の学校経営の基本方針
  - ・重点的な実践項目

- 外部評価の項目 ……
  - <学校の総体に関して>
  - <基礎学力の定着に関して>
  - <社会性・人間性の育成に関して>
  - <保護者・地域との連携に関して>
  - <独自の特色ある教育活動等に関して>
- 内部評価の項目 …… 上記、外部評価の項目に連動した全小・中学校共通の設問 (小・中学校別)

全小・中学校  
共通の設問

— 各学校独自の設問

\*各学校で必要に応じて、設問を追加できる。

- ※各項目について、[学校の姿][児童・生徒の姿][教職員の姿][教職員と子どもの関係]などの評価の対象が示され、それに合わせて設問がつけられる。
- ※評価は、各設問についてA～Dの4段階で評価し、それぞれ理由を記述する。
- ※上記の項目について外部評価及び内部評価を実施し、内部評価の結果は外部評価者にも示して、より客観性のある評価を実現させる。
- ※外部評価者委員会は、各外部評価者の評価結果をもとに総意として最終評価をまとめ、各学校に理由とあわせて報告する。報告書は、学校経由で教育委員会に提出する。

## II 実施方法

### 1. 外部評価の方法

外部評価については、以下のような方法で実施する。

#### (1) 評価者の名称

「外部評価者」と呼ぶこととする。

#### (2) 外部評価者の人数

各学校ごとに上限を8名とし、学校の規模や実態に合わせて決定する。

#### (3) 外部評価者の構成・選出方法

①子どもや教育活動全般を多面的に見ることができる者、地域の実態に精通している者、学校教育に識見を有し、学校経営を客観的に分析できる者など、各校長が候補者を挙げ、教育委員会と相談の上、教育委員会が委嘱する。

②外部評価者には、各校とも原則として次の分野の方を入れる。

○PTA関係者

○地域団体関係者(町会、商店会、区行政職員、学校ボランティアなど)

○学識経験者

※上記の他、校長が必要と考える者を候補者として挙げる。

※学識経験者については、学校と相談の上、事務局で選出する。

※外部評価者は、複数校を兼ねることができる。

#### (4) 外部評価者の任期

委嘱時より、その年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

外部評価者に欠員が生じた場合は、原則として補充はしない。

#### (5) 外部評価者の職務

各学校の外部評価者は、次の職務を行うものとする。

①外部評価者は、各学校ごとに外部評価者委員会を組織し、委員長を1名選出する。

②外部評価者は、以下の会議及び説明会に参加する。

<外部評価者委嘱式>

教育委員会が招集(4月)し、委嘱式及び説明会を行う。

<学校評価説明会>

各学校が招集(委嘱式後(4月)、第1回外部評価者委員会と同日に設定する)し、各項目についての基本的な考えや評価項目について説明する。

<外部評価者委員会>

各学校ごとに委員長が招集(4・1・3月)し、外部評価に関わる意見交換等を行う。

<外部評価に関する協議会>

各学校の校長が招集(8・1月)し、外部評価結果の説明、協議等を行う。

※「外部評価に関する協議会」の参加者は、以下のとおりとする。

・外部評価者

・校長、教頭、校内の運営(企画)委員会等のメンバー

③外部評価者は、通常の教育活動時、学校公開、学校行事などに学校を訪問し、評価活動を行う。

④外部評価者は、事務局が主催する評価者研修会(6月)に参加する。

#### (6) 外部評価者委員会の構成・機能

①外部評価者委員会は、各学校に設置し、各学校の外部評価者で構成する。

②委員長は、外部評価活動を円滑に進めるため、以下の時期に外部評価者委員会を開く。

・4月 各学校が開催する「学校評価説明会」に引き続いて開催(委員長の選出、年間の予定等を把握し、大まかな評価計画をたてる)

・1月 各学校が開催する「外部評価に関する協議会(第2回)」の前に開催(内部評価結果を受けて各外部評価者が評価した内容を全体で協議し、外部評価者委員会総意としての評価をまとめる。)

・3月 学校が、次年度の学校の経営方針や具体策を外部評価者に説明する会として開催

※校長は次年度の学校経営方針の説明のために参加する。

③委員長は、学校主催の「外部評価に関する協議会(第2回)(1月開催)」の際に、最終報告書(指定用紙)を提出し、最終評価結果を理由とあわせて学校に説明する。最終報告書は、学校を経由して教育委員会に提出する。

#### (7) 外部評価の活用

校長は、学校改善、教員の資質向上につなげるため、外部評価結果の内容を、校内の運営(企画)委員会等を通じて検討する。外部評価結果についての学校の判断や具体的な改善策等については、3月に学校経営方針案や教育課程届とともに外部評価者に示す。保護者や地域等については、新年度(4月)に外部評価結果を具体的な改善策や新しい実践事項とともに公表し、説明する。

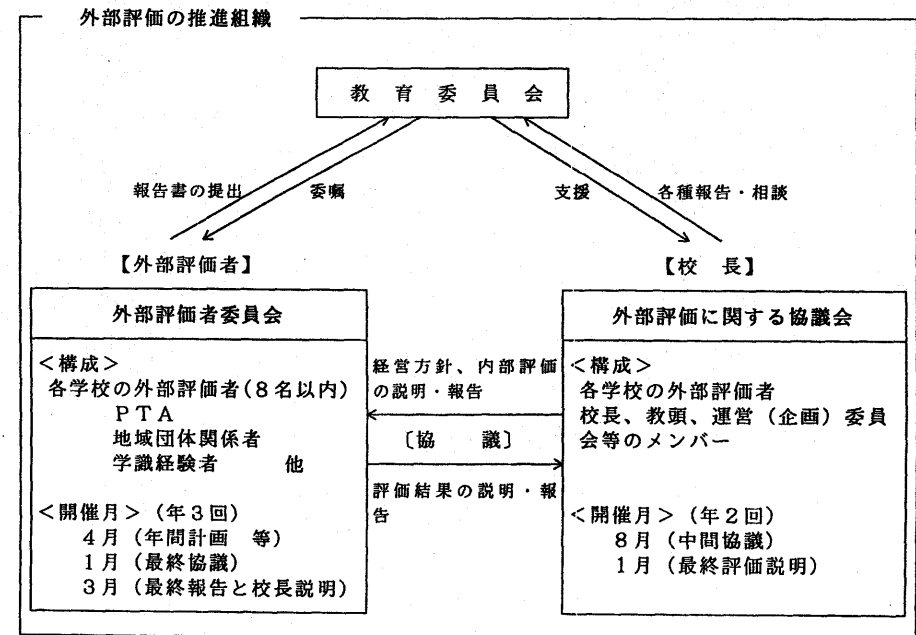
なお、改善策等については、学校経営方針とともに、次年度の評価表(学校経営の基本的な考え方の重点的な実践項目の欄)にも反映させる。

#### (8) 外部評価者の解嘱

教育委員会は特別の事情がある場合には、校長の具申を受けて、その委嘱を解き又は適当な措置を講ずるものとする。

#### (補則)

問題が生じた場合は、学校と教育委員会が協議し対応するものとする。

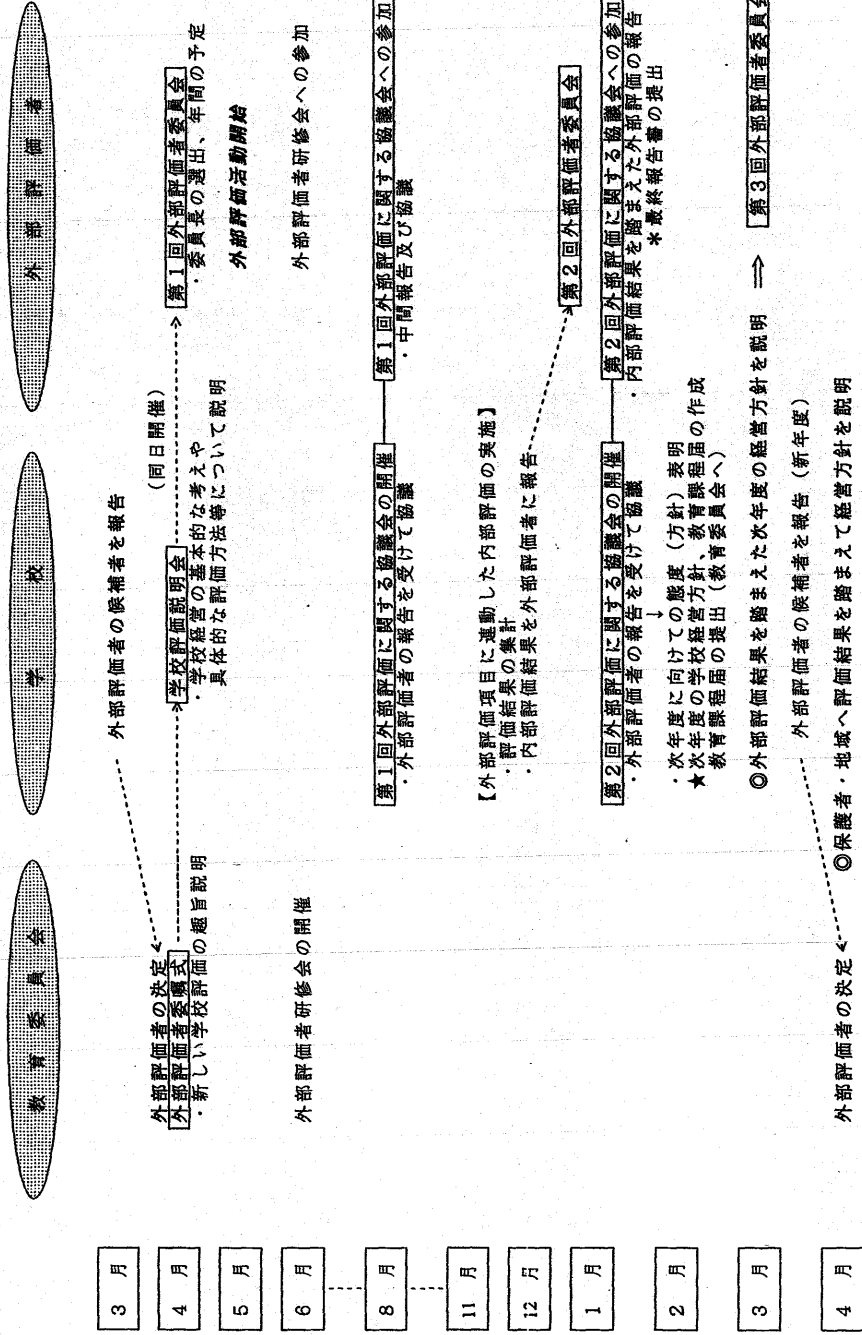


2. 学校評価の年間計画

外部評価者による学校教育活動に対する外部評価は、下記のとおり実施する。(通常の内部評価活動を除く)

月	時期	内 容	外部評価に関する会議等
3月		○各学校が外部評価者の候補者を教育委員会に報告する。	
4月	上・中旬 下旬	○教育委員会が外部評価者を決定、委嘱し、説明会を実施する。 ○各学校が外部評価者に、学校経営の基本的な考えや外部評価項目等、評価方法について説明する。	○外部評価者委嘱式(教育委員会主催) ○学校評価説明会(学校主催) ○第1回外部評価者委員会 *学校評価説明会と同日開催 *外部評価活動開始
5月			
6月			○評価者研修会
8月		○各学校が「外部評価に関する協議会(第1回)」を開催し、中間報告及び協議を行う。	○第1回外部評価に関する協議会
11月	下旬	○各学校が外部評価項目に連動した内部評価を実施(個人)	
12月	下旬	○各学校が外部評価に連動した内部評価の結果を外部評価者に報告	
1月	上旬 中旬	○各学校が「外部評価に関する協議会を開催(第2回)」し、最終報告書を提出するとともに、外部評価者委員会総意としての評価結果を校長に説明する。	○第2回外部評価者委員会 ○第2回外部評価に関する協議会
2月		○外部評価結果を受け、各学校が次年度に向けての態度表明をする。 ○学校経営方針、教育課程届開始	
3月	上旬 下旬	○校長が外部評価者に次年度の経営方針や改善策等を具体的に説明する。 ○各学校が次年度の外部評価者を教育委員会に報告する。	○第3回外部評価者委員会
4月	上・中旬 下旬	○各学校が評価結果及びそれを受けた新年度の経営方針や具体策等を公表し、説明(保護者、地域へ)する。 ○教育委員会が各学校の外部評価者を決定 ○各学校が外部評価者に、外部評価項目や観点等の評価方法について説明(新年度)	○外部評価者委嘱式(教育委員会主催) ○学校評価説明会(学校主催) ○学校評価説明会 第1回外部評価者委員会

外部評価を取り入れた学校評価の流れ



### Ⅲ 評価結果の扱い方と生かし方

#### 1. 評価結果の扱い方

今回本区で取り入れようとしている学校評価は、外部評価と内部評価から成り立っています。これらの評価結果の扱い方については、次のように考えています。

外部評価は、年間を通して累積的に実施されていくわけですが、外部評価者委員会の総意としてまとめられた最終的な外部評価結果については、学校として十分に吟味しながら次年度の学校経営方針や教育課程届等の作成に生かし、その経営方針を保護者や地域の方々などに提示し、説明するという方法をとるようにします。

平成14年度から実施された新教育課程や学校週5日制下における学校教育は、保護者、地域の方々に協力と参加・参画を強く促し、開かれた学校・特色ある教育活動の一層の推進を図ることを求めています。本区のように学校選択制を取り入れている場合には、このことは更に求められることとなります。そこで、保護者や地域の方々による外部評価結果を十分に取り入れ、学校経営方針作成のための重要な情報として活用することは、特色ある学校づくりや学校の活性化、教職員の資質の向上等にとって有効であるだけでなく、学校への信頼感を一層高めることにもなります。そのためにも学校経営方針の説明に当たっては、外部評価結果のどのような意見をどのように学校改善に生かしたか、何について次年度努力するか（実践するか）が外部評価者はもとより保護者・地域の人々に具体的に分かるように行わなければなりません。

次に、内部評価の扱い方について述べます。校内の教職員による内部（自己）評価項目は、多岐にわたりますが、外部評価項目と連動させた項目を設定し、それに関する自己評価結果を外部評価者の最終評価実施前に外部評価者に対して提示します。この方法により、外部評価者は学校が自らの教育実践等をどう受け止めているのかを知ることができ、それに対する評価を行うことになるので、内部評価との相違点などを明らかにしながら評価していくことができます。こうした方法は、学校改善をより効果的に進めることができるものと考えます。

#### 2 評価結果の生かし方

外部評価を活用した学校評価システムが目指しているものは、内部評価に対する外部からの評価を取り入れ、その結果を校内で主体的に受け止めることにより自律性の高い学校を作り上げていくというものです。

外部評価者は、外部評価者委員会を設置して、各委員の評価がどのような実態にもとづくものであるかを協議し、その結果を報告書に記述することになります。この記述により、学校にとっての「よさ・特色」や「改善点」を浮き彫りにすることができます。学校が、学校外の人々からの評価を、学校の可能性を高める貴重な情報源として活用していくことができるようになるわけです。

また、学校では外部評価の項目や対象となる事項について、基本的な考え方を明確にするだけでなく、評価結果を主体性をもって受け止め、改善すべき点は次年度の経営方針に具体的に反映させていかなければなりません。評価表の学校経営の基本的な考え方、特に重点的な実践項目の欄には、評価結果を踏まえた学校の具体目標が明記されることとなります。さらに、各学校は、評価結果を基に学校経営を図る校内体制を作っていくことも求められます。このように、外部評価は、教職員集団が目標達成集団として高まっていくことを支えていくこととなります。

### Ⅳ 実施に向けての配慮事項

#### 1 今回の学校評価が何を求めているものであるかを校内で十分に確認すること

- ・今回の学校評価は、品川区で進めている特色ある教育活動の一層の推進を図るためのものです。それは、内部・外部の評価項目が、区として推進している「基礎学力の定着」「社会性・人間性の育成」「保護者・地域社会との連携」「その他各学校での特色ある教育活動」を主にし、これらを「学校の総体」と関連させて見ていくことになっていることから理解できます。
- ・また、学校の主体性・自律性を高めるためのものでもあります。外部評価委員会からの評価結果を校内で主体的にうけとめ、自ら学校改善・改革を推進するためのものです。そのために、校内に外部からの評価を受け止める体制をつくり、それを学校の教育計画づくりに生かすようにしています。

#### 2 評価対象とする5項目に関して、学校としての基本方針を簡潔、明瞭に述べること

- ・本評価の様式の特徴は、各評価項目についてまず学校としての基本的な考え方を述べることにあります。学校として育てようとしている「子どもや学校の姿」「そのための経営の基本方針」「重点的な実践項目」を分かりやすく具体的に記述することは、日々の教育活動を具体的なものにするとともに、外部評価者の評価が焦点の定められたものとなり、学校経営に反映しやすくなります。

なお、記述に当たっては、各校の教育課程届第2表の(1)「プラン21の推進の観点から」(2)「重点的な実践内容」の内容に基づき、何をするかを具体的に書くことが大切です。

#### 3 項目5の各校の特色ある教育活動等に関する設問は、各学校で作成すること。また、各領域の内部評価の観点は、必要に応じ追加すること

- ・各学校がそれぞれに推進している特色ある教育活動については、何を外部に問うかを独自に設定することができます。このことにより、各校の特色ある教育活動を一層推進することができます。また、各学校が、それぞれの実態に合わせて自主的・自律的に学校改善に向けて必要と思われる設問をつくっていくことは、重要な課題であると考えます。
- ・また、各領域毎の内部評価の観点については、自校の学校づくりと関連させて適時追加することができます。これは、各領域に関して、校内でどのようにとらえているかをより多く情報提供できることになり、学校への理解を深めることにもなります。

#### 4 外部評価者の人選に配慮するとともに、評価の観点・方法等について十分に説明すること

- ・人選に当たっては、広く各層からの選出が望まれます。また、外部評価者委員会を組織し、委員会として学校へ評価結果の報告をしていただくことを念頭に置いて、一定程度訪問でき、意欲的に評価活動を進められる方を人選する必要があります。
- ・評価の方法は、年度当初に校長より説明します。平素の授業の他、学校公開や学校行事等の機会に来校していただき、累積的な評価をお願いします。
- ・外部評価者は、学校が主催する「外部評価に関する協議会」にて学校（運営委員会等）側と年2回評価報告及び協議を行います。  
2回目は、外部評価者が評価結果（外部評価項目と連動した内部評価を受け、外部評価者総意としての評価）を説明した後、協議となります。
- ・最終報告書のまとめ方や評価結果の生かし方については、年度当初に十分説明しておくようにします。

#### 5 外部評価委員会の評価報告を受け止め、生かす校内組織をつくること

- ・年2回の協議会には、管理職と共に校内組織の運営委員会等が対応するようにし、学校が自律性を持った目標達成集団になるように組織の活用を図ります。

V 評価表

【外部評価の内容構成】

【学校評価項目】	【評価の対象】
1 学校の総体に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の姿</li> <li>○児童・生徒の姿</li> <li>○教職員の姿</li> <li>○教職員間の協力の姿</li> <li>○教職員と児童・生徒の関係</li> <li>○学校の環境整美</li> </ul>
2 基礎学力の定着に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒の姿</li> <li>○教師の姿</li> <li>○授業の様子</li> </ul>
3 社会性・人間性の育成に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・生徒の姿</li> <li>○教職員の姿</li> <li>○教職員と児童・生徒の関係</li> <li>○地域の方と児童・生徒の関係</li> </ul>
4 保護者・地域との連携に関して	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の姿</li> <li>○教育活動への参加</li> <li>○学校からの発信</li> </ul>
5 独自の特色ある教育活動等に関して	<p>※各学校の特色ある活動や特に必要な事項について独自に作成</p>

※内部評価も上記の項目、対象に対応して設問が設けられています。

学校評価項目その1【学校の総体に関しまして】

《学校経営の基本的な考え方》

(1) 本校が育てようとしている子どもの姿とそれを支える学校の姿

（小）学 校（用）

(2) そのための今年度の学校経営の基本方針

(3) 重点的な実践項目

評価の対象	保護者・地域の方等による学校評価の観点（外部評価用）	教職員による学校評価の観点（内部評価用）
<p>【学校の姿】</p> <p>※外部評価で保護者の方は、＜保護者向け＞の設問に、地域の方は＜地域向け＞の設問に回答してください。</p> <p>※学業進捗の方は、保護者や地域に対する学校の対応等の状況を把握の上、両方の設問に回答してください。</p>	<p>保護者向け＞</p> <p>①学校の教育方針が保護者に分かりやすく説明されている。</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p> <p>②学校が育てようとしている児童の姿は、あなたが自分のお子さんに求めている姿と合っている。</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p> <p>③＜地域向け＞ 学校の教育方針が地域にも分かりやすく説明されている。</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎ 教職員による学校評価の観点（内部評価用）</p> <p>◎ 学校は教育方針を保護者・地域の方に分かりやすく説明し、学校が育てようとしている子どもの姿についての理解を得ている。</p>
<p>【児童の姿】</p> <p>◎ 学校生活全体において、児童はお互いのよさやがんばっていることを認め合って生活している。</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎ 学校生活全体において、子どもたちは互いのよさやがんばっていることを認め合って生活している。</p>	

評価の対象	保護者・地域の方等による学校評価の観点 (外部評価)	
【教職員の姿】	◎保護者（地域）からの問い合わせや来校者に対して、教職員は誠実な対応をしている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	
【教職員間の協力の姿】	◎学校全体で児童の指導にあたるように、教職員の協力体制がとれている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	
【教職員と児童の関係】	◎教職員は一人一人の児童への声掛けを大切にしており、児童も指導を受け入れている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	
【学校の環境整美】	◎学校内外の施設・設備は整美が行き届いており、児童が快適・安全に学校生活を送れる環境となっている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	

教職員による学校評価の観点 (内部評価)	
◎ 教育公務員としての自覚ある言動により、保護者や地域の方から信頼を得ている。	
◎ 教育会や様々な研修会に積極的に参加し、教師としての専門性を磨くようにしている。	
◎ 教職員は協力体制を整えており、いつでも学校全体で子どもの指導にあたっている。	
◎ 教職員は、どの子どもたちにも公平に接し、子どもたちから信頼と尊敬を得ている。	
◎ 各教室や校庭など学校内外の施設・設備は整美が行き届いており、子どもたちが快適・安全に学校生活を送れる環境となっている。	

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

学校評価項目その2 【基礎学力の定着に関して】 (小学校用)

【本校の基礎学力の定着に関する基本的な考え方】

- (1) 本校が育てようとしている子どもの姿とそれを支える学校の姿 (2) そのための今年度の学校経営の基本方針 (3) 重点的な実践項目

評価の対象	保護者・地域の方等による学校評価の観点 (外部評価)	
【児童の姿】	◎どの児童も、学習内容を理解しようと意欲的に学んでいる。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	
【教師の姿】	◎教師は一人一人の理解状況に合わせて、基礎学力の定着を図るための指導を工夫している。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	
【授業の様子】	◎話の聞き方や発表の仕方など、学習のルールが守られた中で授業が行われている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	

教職員による学校評価の観点 (内部評価)	
◎ 学校は教育方針を保護者・地域の方に分かりやすく説明し、学校が育てようとしている子どもの姿についての理解を得ている。	
◎ 基礎学力を明確にし、個に応じた指導方法や学習形態の工夫及び一人一人の子どもの進歩の状況を示し、励ます評価を行っている。	
◎ 教材・教具を効果的に活用して学習のめあてや内容を子どもに分かりやすく示し、子どもは見通しをもって意欲的に授業に取り組んでいる。	

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない



《本校の社会性・人間性の育成に関する基本的な考え方》

(1) 本校が育てようとしている子どもの姿とそれを支える学校の姿	(2) そのための今年度の学校経営の基本方針	(3) 重点的な実践項目
----------------------------------	------------------------	--------------

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという D=当てはまらない

評価の対象	保護者・地域の方等による学校評価の観点 (外部評価)	教職員による学校評価の観点 (内部評価)
【児童の姿】	<p>◎校内での生活の様子から、児童は集団生活に必要なきまりや約束を守っている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎ 教職員による学校評価の観点 (内部評価)</p> <p>◎ 子どもたちは、集団生活に必要なきまりや約束を守って生活している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
【教職員の姿】	<p>◎教職員は模範となる言動を示すと同時に、社会の一員として身に付けるべき内容を適切に指導している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎ 子どもたちは自分のよさや友達のを認め、尊重し合って生活している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
【教職員と児童の関係】	<p>◎学校行事や児童会、クラブ活動等では、教職員と子どもたちは信頼関係のもとに生き生きと活動している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎ 教職員は模範となる言動を示すと同時に、社会の一員として身に付けるべき内容を適切に指導している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
【地域の方と児童の関係】	<p>◎児童は、「総合的な学習の時間」など、教育活動にゲストとして招かれた保護者・地域の方と積極的にコミュニケーションを図っている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎ 学校行事や児童会活動、クラブ活動等では、教職員と子どもたちは信頼関係の下に生き生きと活動し、感動や喜びを共有している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
		<p>◎ 「総合的な学習の時間」など、教育活動にゲストとして招かれた保護者・地域の方と子どもたちは、望ましい関係で活動している。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
		<p>◎ 保護者や地域の方と子どもの健全育成に関する交流の場をもっている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>

【保護者・地域との連携に関して】

《本校の保護者・地域との連携に関する基本的な考え方》

(1) 本校が育てようとしている子どもの姿とそれを支える学校の姿	(2) そのための今年度の学校経営の基本方針	(3) 重点的な実践項目
----------------------------------	------------------------	--------------

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという D=当てはまらない

評価の対象	保護者・地域の方等による学校評価の観点 (外部評価)	教職員による学校評価の観点 (内部評価)
<p>【教職員の姿】</p> <p>※外部評価で保護者の方は、＜保護者向け＞の設問に、地域の方は＜地域向け＞の設問に回答してください。</p> <p>※学業経験者の方は、保護者や地域に対する学校の対応等の状況を把握の上、両方の設問に回答してください。</p> <p>【教育活動への参加】</p>	<p>◎＜保護者向け＞どの教職員も児童の学習や生活にかかわる保護者からの相談事や連絡には、いつでも丁寧に応じてくれる。</p> <p>＜保護者・地域向け＞ PTAの活動や町会のお祭りなどの行事に、教職員が参加や協力をしている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎教職員による学校評価の観点 (内部評価)</p> <p>◎＜保護者との関係＞ (*評価は一つで)</p> <p>教職員は、保護者や地域の願いや悩みに対して、教育相対的態度で接し、組織的に取り組んでいる。</p> <p>＜保護者・地域との関係＞</p> <p>PTA行事や地域行事に対して、教職員は協力し、進んでかかわっている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
	<p>◎＜保護者向け＞学校は保護者に、授業や行事など様々な教育活動への参加を呼びかけている。</p> <p>＜地域向け＞学校は、地域の人材や施設等を教育活動に生かしている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎＜保護者との関係＞ (*評価は一つで)</p> <p>学校は、保護者や地域に、授業や行事などの教育活動への参加を呼びかけている。</p> <p>＜地域との関係＞</p> <p>学校は、地域の人材や施設等を教育活動に生かしている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>
【学校からの発信】	<p>◎＜保護者向け＞学校が学校公開や学校だより、ホームページ等で伝えている教育活動や児童の様子などの内容は、参考になる。</p> <p>＜地域向け＞ 学校が学校公開や学校だより、ホームページ等で伝えている教育活動や児童の様子などの内容は、学校の様子が分かり、地域で児童に接する際にも参考になる。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p> <p>◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。</p>	<p>◎＜保護者や地域との関係＞ (*評価は一つで)</p> <p>①学校は、保護者や地域の願いや期待を踏まえて、学校公開や学校だより、ホームページ等で参考になる情報を発信している。</p> <p>②学校は、保護者や地域から戻ってきた情報について丁寧に応えている。</p> <p style="text-align: center;">A B C D</p>

《学校経営の基本的な考え方》

(1) 本校が育てようとしている生徒の姿とそれを支える学校の姿

(2) そのための今年度の学校経営の基本方針

(3) 重点的な実践項目

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

16

評価の対象	保護者・地域の方による学校評価の観点 (外部評価)	教職員による学校評価の観点 (内部評価)
【学校の姿】  ※外部評価者で保護者の方は、<保護者向け>の設問に、地域の方は<地域向け>の設問に回答してください。 ※学識経験者の方は、保護者や地域に対する学校の対応等の状況を把握の上、両方の設問に回答してください。	◎<保護者向け> ①学校の教育方針が保護者に分かりやすく説明されている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 ◎<地域向け> 学校の教育方針が地域にも分かりやすく説明されている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	◎ 教職員は、学校の方針を保護者・地域の方に理解されるように努め、その教育方針が生徒の姿に現れている。
【生徒の姿】	◎学校生活全体において、生徒はお互いのよさやがんばっていることを認め合って生活している。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	◎ 生徒は、学校生活全体において、伸び伸びと学び、安心して学校生活を送ることができる。

17

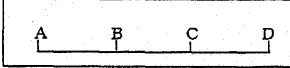
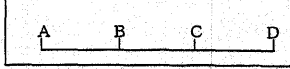
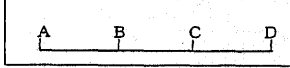
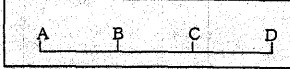
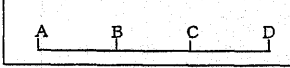

評価の対象	保護者・地域の方による学校評価の観点 (外部評価)	教職員による学校評価の観点 (内部評価)
【教職員の姿】	◎保護者(地域)からの問い合わせや来校者に対して、教職員は誠実な対応をしている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	◎ 教職員は、保護者からの問い合わせや来校者に対して、親切に対応している。
【教職員間の協力の姿】	◎学校全体で生徒の指導にあたるように、教職員の協力体制がとれている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	◎ 教職員は全校体制の確立のもと、共通理解、共通実践している。
【教職員と生徒の関係】	◎教職員は一人一人の生徒への声掛けを大切にしており、生徒も指導を受け入れている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	◎ 教職員は、生徒への声掛けを大切に、生徒も教職員を信頼して指導を素直に受け入れている。
【学校の環境整美】	◎学校内外の施設・設備は整美が行き届いており、生徒が快適・安全に学校生活を送れる環境となっている。 ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。	◎ 各教室や校庭など、学校内外の施設・設備の整美に努め、安全で整った教育環境をつくっている。

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

《本校の基礎学力の定着に関する基本的な考え方》

- (1) 本校が育てようとしている生徒の姿とそれを支える学校の姿 (2) そのための今年度の学校経営の基本方針 (3) 重点的な実践項目

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

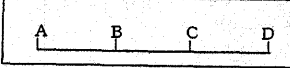
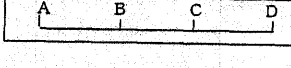
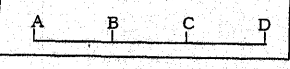
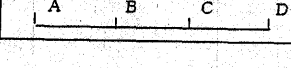
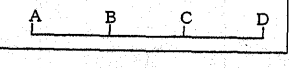

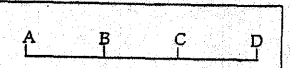
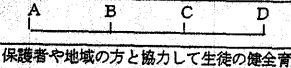
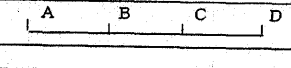
評価の対象	保護者・地域の方による学校評価の観点 (外部評価)	教職員による学校評価の観点 (内部評価)
【生徒の姿】	◎どの生徒も、学習内容を理解しようと意欲的に学んでいる。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ どの生徒も学習内容を理解しようと、意欲的に学んでいる。 
【教師の姿】	◎教師は一人一人の理解状況に合わせて、基礎学力の定着を図るための指導を工夫している。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ 生徒の学習意欲を高めるために、積極的によさを認めて評価し、一人一人の実態にあわせた個に応じた指導や学習形態の工夫に努め、基礎学力の定着を図っている。 
【授業の様子】	◎話の聞き方や発表の仕方など、学習のルールが守られた中で授業が行われている。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ 学習のルールが守られた中で、生徒は自主的に学習に取り組んでいる。 

18

《本校の社会性・人間性の育成に関する基本的な考え方》

- (1) 本校が育てようとしている生徒の姿とそれを支える学校の姿 (2) そのための今年度の学校経営の基本方針 (3) 重点的な実践項目

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価の対象	保護者・地域の方による学校評価の観点 (外部評価)	教職員による学校評価の観点 (内部評価)
【生徒の姿】	◎校内での生活から、生徒は集団生活に必要なまじりや約束を守っている。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ 生徒は、集団生活に必要なまじりや約束を守って生活している。 
【教職員の姿】	◎教職員は模範となる言動を示すと同時に、社会の一員として身に付けるべき内容を適切に指導している。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ 教職員として模範となる言動を示すと同時に、社会の一員として身に付けるべき内容を適切に指導している。 
【教職員と生徒の関係】	◎学校行事や生徒会活動、部活動等では、教職員と子どもたちは信頼関係のもとに生き生きと活動している。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ 学校の行事や生徒会活動、部活動では、生徒と一緒に活動し、生徒と望ましい人間関係ができています。 
【地域の方と生徒の関係】	◎生徒は、「総合的な学習の時間」など、教育活動にゲストとして招かれた保護者・地域の方と積極的にコミュニケーションを図っている。  ◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。 _____	◎ 「総合的な学習の時間」などにおいて、保護者・地域の方と生徒は、望ましい関係で活動している。  ◎ 保護者や地域の方と協力して生徒の健全育成上のかかわりを持っている。 

19

《本校の保護者・地域との連携に関する基本的な考え方》

(1) 本校が育てようとしている生徒の姿とそれを支える学校の姿	(2) そのための今年度の学校経営の基本方針	(3) 重点的な実践項目
---------------------------------	------------------------	--------------

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価の対象

保護者・地域の方による学校評価の観点 (外部評価)

【教職員の姿】  
※外部評価者で保護者の方は、＜保護者向け＞の設問に、地域の方は＜地域向け＞の設問に回答してください。  
※学識経験者の方は、保護者や地域に対する学校の対応等の状況を把握の上、両方の設問に回答してください。  
【教育活動への参加】

◎＜保護者向け＞どの教職員も児童の学習や生活にかかわる保護者からの相談事や連絡には、いつでも丁寧に応じてくれる。  
＜保護者・地域向け＞PTAの活動や町会のお祭りなどの行事に、教職員が参加や協力をしている。

A B C D

◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。

.....

◎＜保護者向け＞学校は保護者に、授業や行事など様々な教育活動への参加を呼びかけている。  
＜地域向け＞学校は、地域の人材や施設等を教育活動に生かしている。

A B C D

◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。

.....

【学校からの発信】

◎＜保護者向け＞学校が学校公開や学校だより、ホームページ等で伝えている教育活動や児童の様子などの内容は、参考になる。  
＜地域向け＞学校が学校公開や学校だより、ホームページ等で伝えている教育活動や児童の様子などの内容は、学校の様子が分かり、地域で生徒に接する際にも参考になる。

A B C D

◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。

.....

教職員による学校評価の観点 (内部評価)

◎＜保護者との関係＞ (\*評価は一つで)  
教職員は、保護者や生徒と教育相談などを行う際、誠意をもち、親身になって対応している。  
＜保護者・地域との関係＞  
学校は、PTAや地域で行われている行事(お祭りやイベントなど)に参加や協力をしている。

A B C D

◎＜保護者との関係＞ (\*評価は一つで)  
学校は、学校行事や教育活動の中で、保護者が参加しやすい工夫をしている。

＜地域との関係＞  
・学校は、地域の人材や教材を教育活動に取り入れている。  
・学校は、校内の施設・設備を地域の方が利用しやすいように整備に努めている。

A B C D

◎＜保護者および地域との関係＞  
学校は、学校だよりやホームページ、学校公開等を使って、教育活動や生徒の様子を保護者や地域に伝えている。

A B C D

20

《本校独自の特色ある教育活動に関する基本的な考え方》

(1) 本校の特色ある教育活動に関する基本的な考え方と具体的な内容	(2) そのための今年度の基本方針	(3) 重点的な実践項目
-----------------------------------	-------------------	--------------

A=良く当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価の対象

保護者・地域の方等による学校評価の観点 (外部評価)

( )

◎

A B C D

◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。

.....

◎

A B C D

◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。

.....

◎

A B C D

◇どのような点からそう思われたのかをお書きください。

.....

教職員による学校評価の観点 (内部評価)

◎

A B C D

◎

A B C D

◎

A B C D

21

【本校独自の特色ある教育活動に関する基本的な考え方】

- (1) 本校の特色ある教育活動に関する基本的な考え方と具体的内容
- (2) そのための今年度の基本方針
- (3) 重点的な実施項目

22

評価の対象例	保護者・地域の方による学校評価の観点例(外部評価)
【特別養護老人ホームとの交流】	<p>○ 本校では、併設の特別養護老人ホームとの交流を総合的な学習の時間や学校行事の一端として位置づけ、福祉を大切にする心やボランティアの精神などを育てることを重視していますが、このような教育活動は子どもの成長にとって効果を上げている。</p> <p>◇ A、Dに○印を付けられた方は、どのような点からそう思われたかをお書きください。</p> <p>A B C D</p>
【教師と触れ合う教育活動の充実】	<p>○ 本校では、早朝や放課後などの授業時間外に施設を有効活用して部活動を展開に行っています。また、子どもと教師の心のつながりを大切にするために、休み時間や放課後に「相談時間」を設けています。さらに、様々な行事を行うに当たっては、時間外の練習の時間も確保し、子どもと教師の関係を深める機会としています。このような取り組みにより、本校は子どもが安心して生活できる学校となっている。</p> <p>◇ A、Dに○印を付けられた方は、どのような点からそう思われたかをお書きください。</p> <p>A B C D</p>
【家庭・地域との意思疎通】	<p>○ 本校では、家庭・地域との意思疎通を積極的を図るために、直接的な対話を行う会（ふるさつ、懇談会等）の開催、学校だよりの配布、ホームページの開設、校長へのメール受付、校門掲示板の活用などを行っています。このような手段によって、学校との意思疎通は図られている。</p> <p>◇ A、Dに○印を付けられた方は、どのような点からそう思われたかをお書きください。</p> <p>A B C D</p>
【国際理解教育】	<p>○</p> <p>◇ A、Dに○印を付けられた方は、どのような点からそう思われたかをお書きください。</p> <p>A B C D</p>

評価の対象例	教職員による学校評価の観点例(内部評価)
	<p>○ 総合的な学習の時間や学校行事の一端として特別養護老人ホームとの交流を位置づけて指導しているが、福祉を大切にする心やボランティア精神などが生徒に育っている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 部活動や休み時間・放課後の相談時間などを確保し、子どもと教師の関係を深める機会としているが、このような活動によって安心して過ごせる学校がつけられている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 直接的な対話を行う会（ふるさつ、懇談会など）、学校だよりの配布、ホームページの開設などによって、学校と家庭・地域社会との意思疎通は図られている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 子どもたちは、外国の文化や言語への関心を深めることができている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 学校とSALTの連携により、ALTを効果的に活用した言語学習環境をつくることができている。</p> <p>A B C D</p>

※ 設問例

23

評価の対象例	保護者・地域の方による学校評価の観点例
【教科担任制の効果】	<p>○ 本校では、自分の学級以外の教師も授業で接する機会をつくり、それぞれの教師の得意な分野を生かしたりするため、5、6年の国語、理科、社会で教科担任制を行っています。このような指導方法の工夫は、子どもたちの学力の向上に効果を上げている。</p> <p>◇ A、Dに○印を付けられた方は、どのような点からそう思われたかをお書きください。</p> <p>A B C D</p>
【中学校教師の専門性を小学校に導入】 (小中連携教育)	<p>○ 本校では、中学校教師の専門性を小学校教育に取り入れ、パソコンの授業などを協力して行っています。このような方法により、子どもたちの学習意欲は高まり、学習内容の理解も促進されている。</p> <p>◇ A、Dに○印を付けられた方は、どのような点からそう思われたかをお書きください。</p> <p>A B C D</p>
【ボランティア活動】	<p>○</p>
【教育環境】	<p>○</p>
【基礎的な学力を身につけさせる指導】	<p>○</p>
【行動力・社会性を身につけさせる指導】	<p>○</p>
【心を育てる指導】	<p>○</p>
【心身障害学校との交流】	<p>○</p>

評価の対象例	教職員による学校評価の観点例
	<p>○ 小人数の特性を生かした基礎・基本の定着や発展的な学習ができる授業の工夫が進められている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 小中の実態を踏まえ、相互を見通した新しい教材の開発が進んでいる。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 小中の先生の専門性を生かした授業等における連携が進んでいる。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 生徒会や各学年が取り組んでいるボランティア活動を通して、子どもの人間性や社会性が育っている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 学校は掲示活動や草花の配置を通して、子どもが落ち着いて学校生活が送れるよう教育環境を整備している。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 本校では、数学・英語での習熟度別指導や小人数指導、また、理科のTTによる授業など、個に応じた指導を徹底させるため授業の工夫に努め、基礎・基本となる学力を生徒一人一人に定着させることを重視しています。このような指導の効果が生徒の学習意欲となって現れている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 本校では、生徒の力で運営させる行事の取り組みを通して、友達と協力して困難に打ち勝つ力、円滑な人間関係を築く力などを重視しています。このような指導の成果が生徒の行動面に現れている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 本校では、幼稚園児との交流、ボランティア活動など、直接体験を通して感じる活動を授業やその他の場面に積極的に取り入れ、教職員は一人一人のよさを見つけ、認め、褒賞し、自信をもたせる指導を重視しています。このような指導の成果が生徒の行動面に現れている。</p> <p>A B C D</p>
	<p>○ 人とかかわりを通して互いの違いやよさを認め合い、協力しあい、仲良く生活しようという態度が子どもに育っている。</p> <p>A B C D</p>

【その他 評価活動をして感じたこと】

(小・中 学 校 用)

- 五つの項目にある設問以外で、評価活動をしてお感じになったことがあればお書きください。

品川区教育委員会  
教育長 若月 秀夫 様

平成 年 月 日

品川区立 学校  
外部評価者委員会委員長

私印

外部評価にかかわる報告書

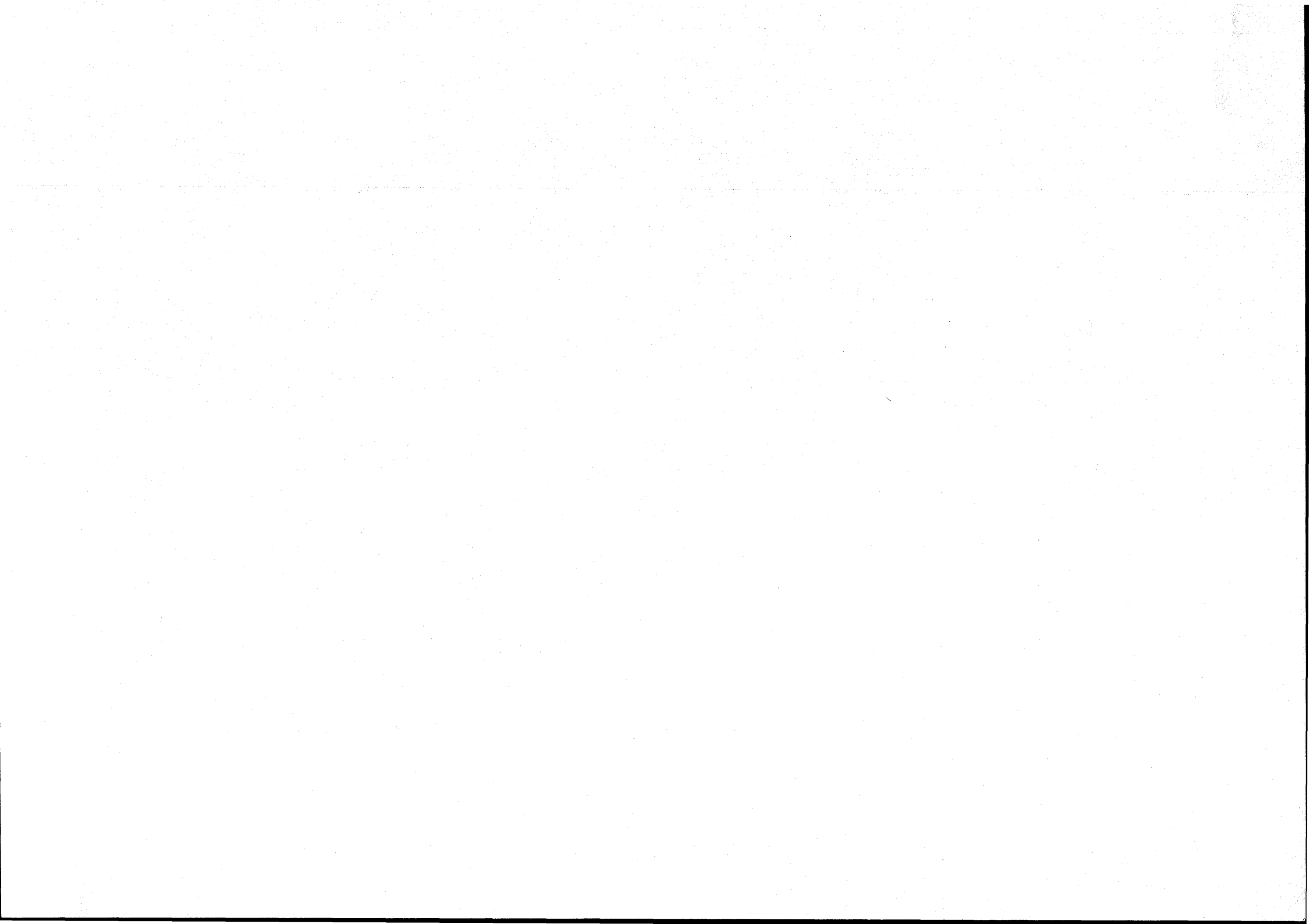
平成14年度の教育活動を評価した結果について、下記のとおり報告します。

記

<p>学校の総体に関して</p>	
<p>基礎学力の定着に 関して</p>	
<p>社会性・人間性の 育成に関して</p>	

<p>保護者・地域との 連携に関して</p>	
	<p>独自の特色ある 教育活動に関して</p>
<p>総合評価</p>	

[外部評価委員氏名]



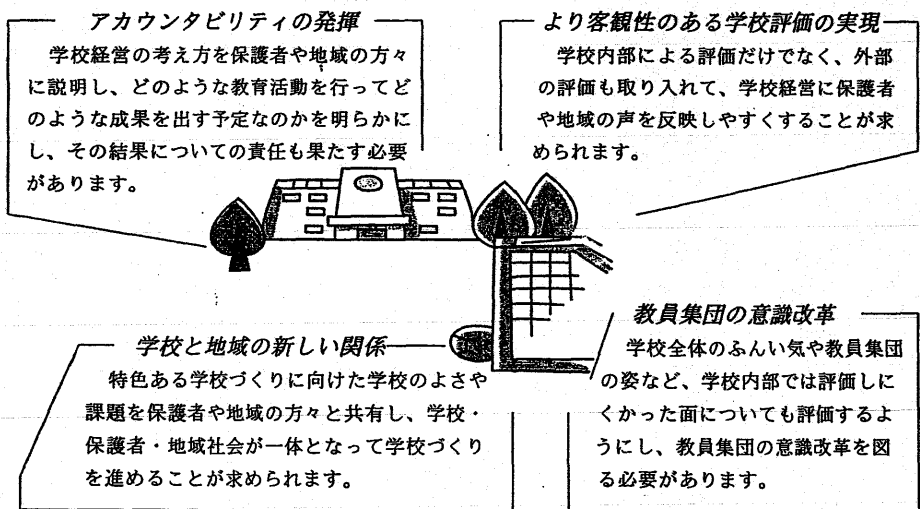


# 自ら学校を変える新しい学校評価

—平成14年度から品川区立小・中学校で新しい学校評価がスタートしました—

品川区では、「開かれた学校」「特色ある学校」を目指し、平成12年度より教育改革「プラン21」に取り組んでいます。学校教育に新たな展望を開くための取り組みがスタートして3年、各学校では「習熟度別学習」「小学校の教科担任制」など、学校独自の指導システムを特色として地道に教育活動の質の向上を図っています。

これからの学校は様々な特色を打ち出すとともに、より多くの保護者や地域の方々から信頼される学校を目指し、自ら学校を変えていこうとする前向きな姿勢をもたなければなりません。教育活動や学校全体の様子を冷静に見定める新しい学校評価を活用した学校改善、学校体制づくりが、今、求められているのです。



品川区の小・中学校は、「外部評価」を取り入れた新しい学校評価を実施し、学校の主体性、自律性を発揮しながら、教育活動の成果を基盤にして学校づくりを進めていきます。

## 外部評価を取り入れた新しい学校評価の目的

学校改善につながる実効性のある学校評価にするために、学校内部と外部の両面から評価活動を行い、より客観性のある評価を実現させます。

- 特色ある学校づくりのより一層の推進と学校の活性化
- 学校教育及び教員の質の向上
- 学校評価に基づく教育活動の成果を基盤にした学校への転換
- 学校・保護者・地域社会が一体となった学校づくり

## 新しい学校評価の特徴、内容

- 【特徴】**
- 評価表の各項目の冒頭に学校経営の基本的な考え方を示します。
    - ・本校が育てようとしている子どもの姿とそれを支える学校の姿
    - ・そのための今年度の学校経営の基本方針
    - ・重点的な実践項目
  - 外部評価と同じ内容の設問で内部評価を行い、その結果を最終評価前に外部評価者に示します。
  - 全小中学校共通の設問と各学校の特色や考え方に合わせた独自の設問があります。

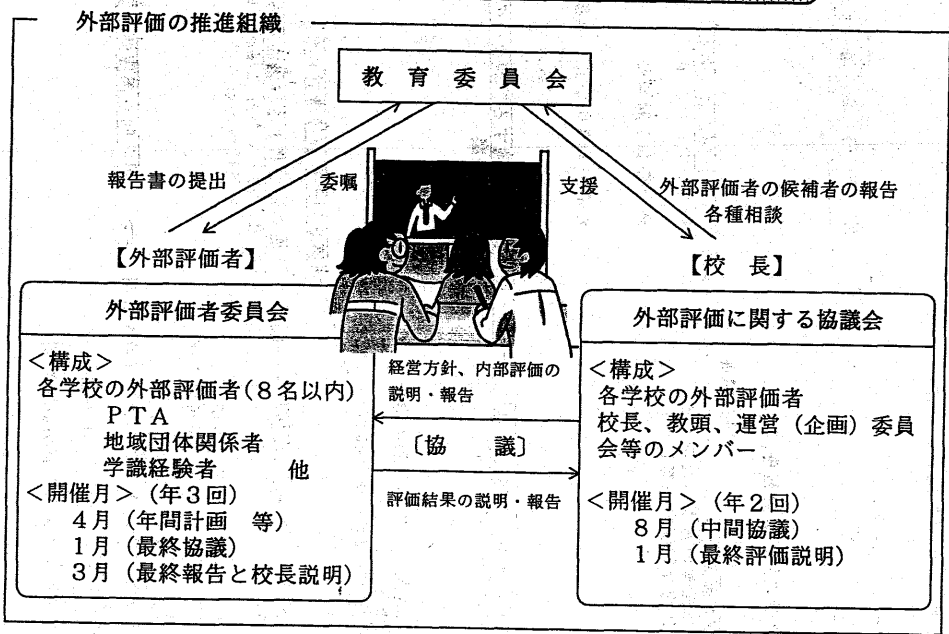
## 【内容】

<学校評価項目>	<評価の対象>
1 学校の総体に関して	○学校の姿 ○教職員間の協力の姿 ○児童・生徒の姿 ○教職員と児童・生徒の関係 ○教職員の姿 ○学校の環境整美
2 基礎学力の定着に関して	○児童・生徒の姿 ○教師の姿 ○授業の様子
3 社会性・人間性の育成に関して	○児童・生徒の姿 ○地域の方と児童・生徒 ○教職員の姿の関係 ○教職員と児童・生徒の関係
4 保護者・地域との連携に関して	○教職員の姿 ○教育活動への参加 ○学校からの発信
5 独自の特色ある教育活動等に関して	※各学校の特色ある活動や特に必要な事項について独自に作成

## 外部評価者の活動

- 【評価活動】** 外部評価者は、通常の教育活動や学校行事など、年間を通じて5～6回程度学校を訪問し、評価表に基づく評価活動を行います。
- 【評価に関する会議】** 外部評価者は、以下の会議に出席し、評価結果の説明・報告や学校との協議を行います。
- 外部評価者委員会（外部評価者主催）＜年間3回＞
  - 外部評価に関する協議会（学校主催）＜年間2回＞
- \*上記は必須回数

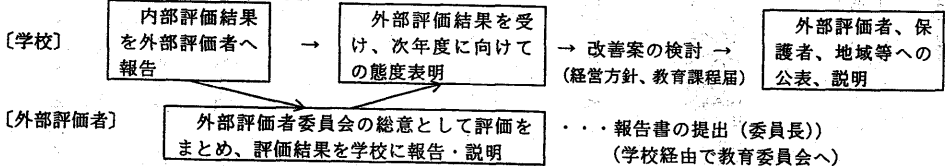
外部評価を取り入れた新しい学校評価のしくみ



評価結果の生かし方と報告の流れ

外部評価の結果については、学校として十分に検討しながら次年度の学校経営方針や教育課程届に具体的な改善策として反映させ、それを外部評価者や保護者・地域の方々等に公表し、説明します。外部評価結果を学校経営上の重要な情報として活用することは、特色ある学校づくりや教育の質の向上、教職員の資質向上など学校改善を図る上で有効であり、学校への信頼感を一層高めることとなります。

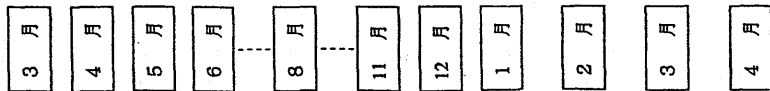
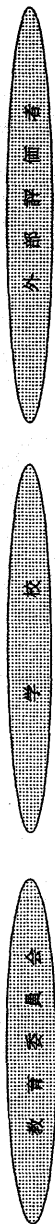
<外部評価者の評価結果の報告の流れ>



Q&A

- Q: 外部評価者にはどのような人がなるのですか。  
A: 学校生活および学校の教育活動を多面的に見られる方や学校づくりを積極的に支えてくれる方、地域の実態に精通している方などを考えています。
- Q: 外部評価結果によって学校は比べられるのですか。  
A: この学校評価は単なる学校批判や学校間のランク付けのために実施するものではありません。評価結果は、各学校が自らの改善に活用していくこととなります。

外部評価を取り入れた学校評価の流れ



外部評価に関する協議会の開催  
・外部評価者の報告を受けて協議

外部評価に関する協議会の開催  
・中間報告及び協議

外部評価に関する協議会の開催  
・内部評価結果を踏まえた外部評価の報告・説明  
\*最終報告書の提出

プラン21等に係わる予算ヒアリング

【外部評価項目に連動した内部評価の実施】

・評価結果の集計  
・内部評価結果を外部評価者に報告

外部評価に関する協議会の開催  
・外部評価者の報告を受けて協議

外部評価に関する協議会の開催  
・内部評価結果を踏まえた外部評価の報告・説明  
\*最終報告書の提出

次年度に向けての態度(方針)表明  
★次年度の学校経営方針、教育課程届の作成

教育課程届の提出(教育委員会へ)  
◎外部評価結果を踏まえた次年度の経営方針を説明

外部評価者の候補者を報告(新年度)

外部評価者・地域へ評価結果を踏まえた経営方針を説明

外部評価者の候補者を報告(新年度)

外部評価者・地域へ評価結果を踏まえた経営方針を説明